

〈遊歩一景〉 ～野々浜学区～

変わり行く 時代眺める 大津野湾



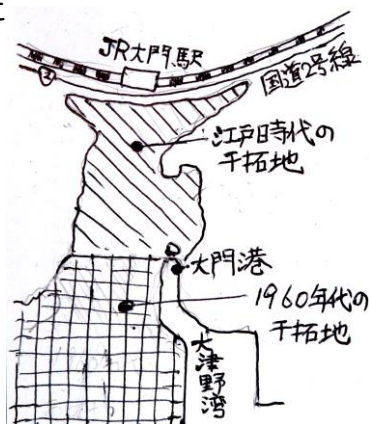
野々浜学区の南側は大津野湾があり、現在は南北に長く大門港から瀬戸内海へ続いています。

昔は大門駅辺りまで入り江でしたが、江戸時代から干拓が進み、入浜式塩田ができました。

戦後の頃は、東西に広がる浜が海水浴でにぎわいました。沖の多島美や「うたせ船」の漁など、瀬戸内の風情を楽しめたことでしょう。

1960年代、製鉄所建設のため湾は埋め立てられて現在の姿になりました

1990年代、大門町付近は台風で水害にあい現在は排水ポンプが3機稼働しています。かつては塩田の取水口が…、今はポンプの排水口が…、大津野湾と向き合っています。



東部いれこみ情報

学習情報

No.252

2022年(令和4年)9月15日

9月号

発行 東部地域振興課

住所 〒721-0915 福山市伊勢丘6-6-1

電話 940-2574 FAX 947-5658

カーは

福山市東部地

ホームページで検索 ・ QRコード



ふくやま人権大学2022

水平社創立から100年

「人の世に熟あれ 人間に光あれ」
～原点に学び、現在につなげる～

- 10月26日(水) 学習成果発表
「現在も、なお誇り得る人間の血は、涸れずにある」
発表 南部管内コミュニティセンター主事
- 11月2日(水) 講義
「水平社創立の歴史的背景と創立の必然性」
講師 藤坂 真治さん(南部地域振興課次長)
- 11月16日(水) 講義
「現在につなげよう! 水平社宣言」
講師 山下 真澄さん(部落解放同盟福山市協議会議長)

【時間】19時～20時30分

【会場】人権平和資料館(福山市丸之内一丁目1番1号)

●申込みはこちらのフォームから ↓↓↓

主催・問合せ・申込み先

人権・生涯学習課

TEL 084-928-1243

FAX 084-928-1229

MAIL jinken-shougaigakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp



巡回展

あなたは知ってる? 性の多様性

性別は、生まれた時に医師などが判断しています。でもその時、心の中の性を見ることはできません。女の子っぽい? 男の子っぽい? どちらにも当てはまらない? 大きくなって、何か違うと気づく…。性のこと、知ってください。

期間 9月25日(日)まで

場所 東部市民センター1階 市民サロン

主催 福山市人権・生涯学習課

問合せ 電話 084-928-1006

FAX 084-928-1229

「高めあう 人権感覚 確かな未来」



「2022旭丘チャリティー募金活動」

～24時間テレビ45「愛は地球を救う」に協賛～

旭丘学区では、24時間テレビの「愛は地球を救う」をテーマとした「福祉」「環境」「災害援助」の3部門の活動支援に協賛し、8月27日（土）と28日（日）の2日間、チャリティー募金活動を行いました。

この活動は、ローソン引野南店のご協力により、2010年から行っていますが、昨年、一昨年はコロナの影響により実施を見送っていました。

今年度は、例年1日の活動を2日に分散するなど感染防止対策を行う中で3年ぶりに実施し、募金総額は571,512円に達しました。

27日（土）には福山シティFCの主将 田中選手をはじめ、藤井選手、田口選手の激励訪問があり、募金活動中の子どもたちや会場に訪れた方々とサイン会などを通して交流を深めました。



福山シティFCの選手によるサイン会

まちづくり推進委員会の三島委員長は「チャリティー募金活動を継続して行い、地域の活性化や子どもの育成につなげたい」と話されていました。

皆様のご協力、ありがとうございました。

「親子の絆深めた絵画展」を開催しました

7月13日から8月31日に、東部市民センターで「親子の絆深めた絵画展」と題して作品展を開催しました。これは、河川の問題について考える「芦田川を知ろう」の企画展と合わせて実施したものです。

●豊かな自然など紹介

芦田川は、長い間水質のよくない川として知られていました。また、かつて子どもの遊び場だった河川敷は土手道の交通量の増加などで、次第に訪れる人が少なくなりました。

近年は下水の普及や環境への関心が高まり水質が改善しています。また、様々な生き物や美しい景色があり、パネルで紹介しました。

●暮らしの中にある芦田川を表現

絵画は、芦田川の近くにお住まいの栗原裕美さん親子に出展していただきました。



栗原さん親子は、保育所の行き帰りや散歩など暮らしの中にいつも芦田川があるそうです。知り合いの勧めで芦田川を描くことになり、親子の楽しみになりました。また、祖父母から昔はアユやウナギを採って食べた話などを聞き、芦田川がある暮らしを3世代で共有し、絆を深める機会になったと話されました。

●愛される故郷の川に

多くの人に芦田川を楽しんでいただきながら「愛される故郷の川」になればと思います。

東部管内イベント・講座情報

*参加される際は、マスクの着用、手洗い（消毒）、検温、連絡先の記入等にご協力をお願いします。
*新型コロナウイルス感染症の感染状況により、延期または中止となる場合があります。
*詳細については、それぞれの問い合わせ先までお願いします。

春日コミュニティ館

「ほっとすっきりタイム」

【日 時】9月26日(月)13時30分～15時

【講 師】足立 育代さん

(整理収納アドバイザー)

【内 容】片づけられない自分を責めていませんか？大丈夫！と安心できるアドバイスをもらえます。

【定 員】1～2組

【会場・申込み・問い合わせ先】

春日コミュニティ館 084-943-2531

緑丘公民館

社会教育活動事業

生活力up!

「コロナに負けない心の持ち方」

【日 時】10月19日(水)13時30分～15時

【講 師】生関 くみさん

(福山市男女共同参画推進員)

【内 容】いきいき暮らすため心の持ち方を学習します。

【対象者】どなたでも

【定 員】10人

【申込締切】10月12日(水)

【会場・申込み・問い合わせ先】

緑丘公民館 084-943-5495

引野公民館

『戦争の悲惨さを伝える写真展・Ⅲ』

【日 時】10月18日(火)～21日(金)

9時～16時(21日は12時まで)

【内 容】福山市人権平和資料館収蔵の貴重な写真の数々を展示します。

【対象者】どなたでも



〔昨年度の様子 引野小学校児童も見学に来ました〕

【会場・問い合わせ先】

引野公民館 084-941-6665

【主催】引野学区の人権文化を高める会

春日公民館

社会教育活動事業

春日生き生きセミナー2022

連続講座介護予防教室

【日 時】10月21日(金)・11月18日(金)

12月16日(金)・1月20日(金)

2月17日(金)・3月17日(金)

*時間はいずれも10時～11時

【講 師】地域包括支援センター南蔵王

【内 容】健康体操・転倒予防体操

【対象者】どなたでも

【定 員】20人(先着順)

【持参物等】飲み物・上履き・動きやすい服装

【会場・申込み・問い合わせ先】

春日公民館 084-947-4491

東部図書館からのお知らせ

展示「からだの元気大作戦！」

【期間】9月21日(水)～10月17日(月)

【場所】東部図書館 1階フロア

【内容】第19回ヘルシーメニューコンテスト「うきうきわくわく☆朝ごはんコンテスト」(健康推進課主催)の投票とパネル展示

サロンコンサート

【日時】9月27日(火)

14時～14時30分

【場所】2階集会室

【内容】ハーモニカの演奏

【出演】杉本肇さんほか

【定員】当日先着30人

問い合わせ先 084-940-2575



「福山市人権尊重のまちづくり条例」ができました その5

● 憲法の理念活かす「人権三法」施行

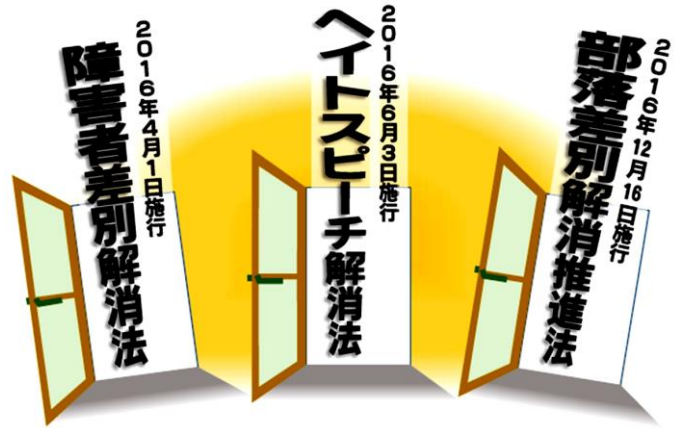
日本では、さまざまな人権問題について国会で現状や課題を確かめ、人権が尊重される社会の実現をめざしています。2016年に施行した、いわゆる「人権三法」はそうした人権問題の解決を目的に成立しました。

人権問題を解決するには、私たち一人ひとりが自分に関わる問題として考えることが求められます。

● 「人権三法」が唱える差別解消の道筋

「人権三法」が唱える差別解消の主な内容として

- ・ 差別実態を把握するための調査を行うこと
 - ・ 人権学習の機会を提供し啓発を行うこと
 - ・ 相談対応などで被害者の救済を行うこと
- などが記されています。そして、これらを具体化するため、全国の自治体の人権条例の施行に取り組んでいます。



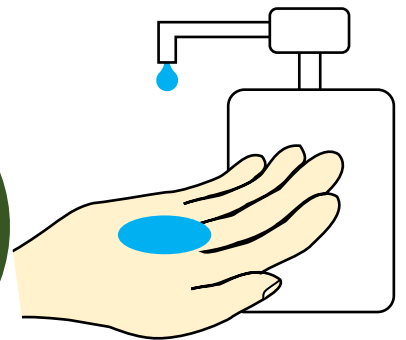
条例の理念を活かした社会の実現に向けて

「人権尊重のまちづくり」について、さまざまな記事を掲載していきたいと思います。条例の理念が活かされた社会の実現に向けて、考える機会にすることができればと思います。

コロナ禍対策 知恵袋

私たちの暮らしは、少しずつ「コロナ前」の姿に戻りつつあり、感染者数は減少傾向にあります。引き続き感染対策が必要です。そこで、「感染予防のひと工夫」を交流したいと思います。

コンビニやスーパーなど、人が集まる場所では、入る時だけでなく、**出る時も**手指消毒をしています。



桜並木…、ふと目について観察を。ピンクの花が艶やかな春は、立ち止まりスマホのカメラを向けるなどして楽しんだかと。秋ゆえ、葉は濃緑から黄色ぎみ、あちこちに虫が食したであろう幾何学模様の「穴」や「欠け」。幹や枝には、しがみついたセミの抜け殻。その中で、来春の新芽がすでにトガつて準備中。季節外れは花のこと、興味深い発見にこれはこれで楽しめました。

名月…、ふと思いついて買い物に。団子を手に入れスキの穂を摘んで夕暮れを迎えたものの肝心の月は曇り空。見えぬゆえ、食卓を囲んでの団子三昧。いつものようにテレビをつけたら全国各地から月の便りが。期待外れを癒してくれる映像の準備に、これはこれで楽しめました。

自然も人も、来る日を迎える準備こそ誰かの笑顔や花を咲かせる秘訣なのかと。さて私たちは、どんな準備をしましょうか。

あーっ、あーっ、あーっ、あーっ

